**１２月の園だより**

令和６年１２月１日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 学校法人志賀学園

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　松の実こども園

クリスマスソングやイルミネーションなど,あちらこちらでクリスマスの雰囲気が楽しめる季節になりました。今年も秋の期間が短く、せっかく色づいた園庭の木々の葉も、あっという間に落ち葉となり、子どもたちが拾って落ち葉の花束にして遊んでいます。

もうすぐ生活発表会です。生活発表会には、０歳児・１歳児のお子様も参加し、全園児参加の行事となります。５歳児は「桃太郎」と「アラジン」の言語劇を行います。これまで桃太郎やアラジンの絵本を見たり、エプロンシアターや劇あそびを楽しんだりした後、役決めの時には自分のやりたい役をきちんと伝えられるよう時間をかけました。集中してしまった役はどのようにして決めるか話し合い、オーディションで決めた役もあったようで、それぞれが納得できるよう決めてきました。そこのところが大事で、担任は丁寧に関わり大切にしてきたところです。

４歳児・３歳児・２歳児も自分のやりたい遊戯や音楽劇が出来るような環境の中で、生活してきたので、皆さん楽しそうに表現する姿が見られます。

０歳・１歳のお子様方にとりましては初めてのステージでの発表になりますので、保護者の皆様もお楽しみのことと思います。いつもは、曲がかかれば笑顔で体を動かしていたお子さんも、暗幕の中たくさんのお客様を前にして、「泣かずにステージにあがって居られれだけで立派！」というくらいの期待感でご覧いただければと思います。かわいい衣装を用意しましたので、どうぞお楽しみに！園生活の中で、気づいたことをことばで伝え合ったり、出来るようになったことを表現したりする経験を通じて、子どもの中にある「豊かな感性と表現」の資質が育って欲しいと願っています。

生活発表会が終わりますと餅つき大会があります。昔からお餅はお祝いの時に食べてきました。自宅でお餅をつくことが少なくなりましたが、日本古来の行事を大切にしていくためにも園でお餅つきを予定しています。蒸した餅米を、子どもたちが千本杵でついた後、執行部役員様方にまた杵でついていただき、最後はもちつき機で仕上げます。そうすると、とっても歯ごたえがあり、やわらかい美味しいお餅に仕上がります。のどに詰まらせないように、小さく切ったり、よく噛んで食べるよう声を掛けながらいただきたいと思います。

　今年の冬至は２１日（土）です。冬至は二十四節気の一つで１年で最も夜が長く、昼の短い日です。この日を境に少しずつ昼の時間が長くなっていきます。冬至の日にカボチャを食べて柚子湯に入ると一年間無病息災でいられると言われています。感染症が流行る時期ですので身体が温かくなるカボチャや栄養のある物を食べ免疫力をつけるようにしましょう。